

# 日高支部だより

2024.vol 1

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 1月 29日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建協内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 令和6年度(第70回)日高支部通常総会 開催

～事業計画(案)ならびに予算(案)を確認～



日高管内の会員23名が出席



WARP足立代表による講演



懇親会の様子

### 令和6・7年度 役員体制

支部長	山下 聡	(新ひだか町)
副支部長	村田 貞光	(新冠町)
"	菊地 峰生	(えりも町)
事務局長	高橋 幸二	(新ひだか町)
理事	門野 智	(日高町)
"	津川 司	(平取町)
"	池田 均	(新冠町)
"	古川 昌広	( " )
"	森 勝利	(新ひだか町)
"	森 正広	( " )
"	三 嶋 克昭	( " )
"	田村 勝弘	( " )
"	高田 良一	(浦河町)
"	大谷 晃平	( " )
"	小田 真	( " )
"	田頭 教行	(様似町)
"	岡崎 忠智	(えりも町)
監事	谷山 茂樹	(新ひだか町)
"	藤 智光	(新冠町)
顧問	土井 宗太郎	(浦河町)
相談役	木原 宗孝	(新ひだか町)
"	池田 尚登	(様似町)
青年委員長	亀田 誠	(新ひだか町)
副委員長	渡邊 忍	(様似町)
"	酒井 高史	(浦河町)
幹事	磯田 良和	(日高町)
"	栗山 匠太	(新冠町)
"	西村 修司	( " )
"	伊藤 涼輔	(新ひだか町)
"	隅谷 耕太朗	( " )
"	大野 啓輔	(浦河町)
"	松田 剛之	( " )
"	池田 雅志	(様似町)
"	岩間 孝太	(えりも町)

3月に開催予定の(一社)北海道建築士会通常総会に先立ち、1月19日(金)、新ひだか町のホテルローレルにて、日高支部通常総会が開催されました。

山下支部長によるあいさつの後、事務局より①定数の報告及び会員の動静、②令和5年度事業報告、③令和5年度収支決算報告、④監査報告の4件の報告事項、①令和6年度事業計画(案)、②令和6年度収支予算(案)の2件の議案が提案され、すべて承認されました。また、本総会では役員改選が行われ、令和6、7年度における支部の体制が決定しました。なお、役員は青年委員会を除き、前期に引き続き同じ体制となっています。総会終了後は新ひだか犬猫ボランティアWARPの足立代表をお招きし、犬や猫等の保護活動への思いについてご講演いただきました。

今年は全道大会日高大会の開催という重要な年となりました。準備委員会は引き続き、大会開催へ向け準備を進めていますので、開催にあたっては、会員一丸となって盛り上げていきましょう。

講演後は懇親会が執り行われ、高野会長を特別ゲストにお招きし、豪華景品が並ぶ恒例のBINGO大会を披露しました。木原相談役の締めあいさつによりつつがなく総会を終えることができました。

# 日高支部だより

2024 vol.2

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 4月 7日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建欄内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 全道青年委員会連絡会議 開催

～『ひろがる、輝く青年建築士』～



針ヶ谷 副会長=挨拶



吉田 青年委員長=報告



パーソナルカラー 田中様=研修会



懇親会の様子



本部青年委員会

3月30日(土)、札幌市かでの2・7 820研修室で、令和6年全道青年委員会連絡会議が開催され、全道60名の各支部青年委員会役員等が参集し、当支部からも亀田 青年委員長、隅谷 幹事の2名が参加しました。

この会議は、各支部青年委員長をはじめとする全道の青年委員参集のもと、一年間の青年委員会の事業方針、事業計画及び予算について報告するとともに、建築士の育成を目的とした研修会等を行い、青年層の資質の向上を図る場として開催しています。

会議の後、本年についても研修会を開催。AMICA color design代表の田中 希様を講師に招き、パーソナルカラーを用いた色のコミュニケーションについて、ご講演を拝聴しました。普段何気を選んでいた色には意味があり、目的があり、色彩心理にも影響を与える重要な要素であることを学び、自分の深層心理にも触れられるものと感じました。建築の現場で行われている色決めにも通ずる本研修は大切な情報共有となりました。

懇親会では、恒例となっていた建築に関するクイズ大会をグレードアップして開催。参加者たちは本部青年委員が作り出す超難問に各テーブルごとに立ち向かいました。真剣勝負のみならず、お馴染みのポケとともに楽しいひと時を過ごすことができました。



# 日高支部だより

2024 vol.3

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 4月28日

発行元：(一社)北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建館内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

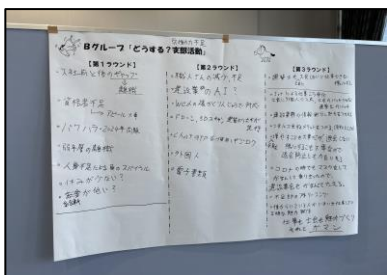
編集責任者：亀田 誠

## 第1回道南ブロック協議会 開催

～全道大会日高大会へ向けた「プレひだカフェ」の開催～



プレひだカフェの様子



意見出しの結果



森 理事による説明の様子



協議会の様子



懇親会の様子＝高橋 常務理事の挨拶

4月20日(土)、本年度最初の道南ブロック協議会が新ひだか町で開催され、亀田 青年委員長、渡邊 副委員長、隅谷 幹事、外山 会員が出席しました。

会議に先立ち、本年開催予定の全道大会日高大会のワールドカフェ「ひだカフェ」のプレを新ひだか町公民館・コミュニティセンターで行った後、同じ会場にて会議を行い、当年度の事業計画などを確認しました。

全道大会日高大会は、9月28日に新ひだか町の道南ブロック協議会と同じ会場で行われ、従来の分科会に代わるワークショップを行います。ワークショップは、青年、女性、まちづくりなど分け隔てなく会員が一堂に会し、ワールドカフェ形式の「ひだカフェ」にて議論を深め、交流を図るものです。支部ではワールドカフェ形式でのワークショップの経験が少なく、さらに大人数での開催事例がなかったことから、道南ブロック協議会にあわせ研修事業の一環として「プレひだカフェ」を試験的に実施させていただきました。会員共通のテーマがお題のため各テーブルで意見交換が活発だったことも幸いしてか、議論の時間が足りないという課題も見え、本番へ向けていい勉強となりました。

終了後には、懇親会も開催し、さらに親睦を深めました。

# 日高支部だより

## 2024 vol.4

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 5月 25日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建館内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 青年建築士の集い（小樽大会）開催

～小樽の観光地で「フォトラリー」～



吉田 青年委員長＝挨拶



本間 会長＝挨拶



フォトラリーの様子



全国大会鹿児島大会のPR



懇親会の様子

5月18日（土）、小樽市小樽道新文化センター 道新ホールで、青年建築士の集い小樽大会が開催され、全道各地から57名の青年建築士が参加し、当支部からは亀田 青年委員長、隅谷 幹事が参加しました。

ルール説明後、各班は事前に配布された地図を頼りに、時間内に小樽市中心部の歴史的建造物に設定されたチェックポイントを回り、得点を集めます。得点はGoogleフォトに保存されたスマートフォンで撮影した画像をもとに積み上げられ、より合計点の高い班が優勝となります。ゲームの要素の強いこのイベントですが、真剣に得点を獲得するもよし、観光を満喫するもよし、歴史的建造物と向き合うのもよしと自由を楽しむものとなりました。

会場に戻ったあと、各班は得点を実行委員会に報告、結果を待ちます。その間、本年開催予定の全道大会日高大会と全国大会鹿児島大会のPR、昨年行われた全国大会静岡大会における地域実践活動の報告が行われました。もちろん全道大会日高大会は亀田 青年委員長のPRです。

その夜に行われた懇親会では、フォトラリーの結果発表が行われ、イベントの感想などを話題に、多くの仲間と語り合うことができる貴重な時間となりました。



# 日高支部だより

2024 vol.1 5

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 7月 17日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建棟内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 第2回道南ブロック協議会 開催

～「お仕事体験フェス」開催～



協議会会場＝東興アイテック事務所



協議会の様子



お仕事体験フェスの様子



懇親会の様子



3次会の様子

6月29日（土）、本年第2回目となる道南ブロック協議会が函館市で開催され、亀田 青年委員長が出席しました。

会議に先立ち、函館市のポールスターショッピングセンター ポールスターB イベントスペースでお仕事体験フェスを開催した後、東興アイテック(株) 会議室にて会議を行い、各支部の活動経過、計画の報告が行われました。併せて、本年開催の全道大会日高大会へ向けた進捗状況の報告やお手伝いの依頼をさせていただきました。

お仕事体験フェスは7月1日の建築士の日にあわせたイベントで、過去新さっぽろサンピアザで行われていたお仕事体験を全道4ブロック一斉に開催し、各地をWEBで繋ぎ、より多くの方々に建築士の仕事の魅力を発信するものです。函館以外では札幌、旭川、紋別で開催され、函館でのイベント内容は札幌支部のパズルで住まいを考えよう！WEB版。来場した子どもたちにiPadを使って間取りパズルを体験してもらいました。当日は函館競馬場のイベントや運動会と日程が重なり、来場者数は非常に寂しいものとなりましたが、中継でつないでいた他の3ブロックが盛況だったこともあり、フェス全体としては成功だったものと思います。

終了後には、懇親会を開催し、さらに親睦を深めました。

# 日高支部だより

2024 vol.6

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 10月 7日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建㈱内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## ～馬産地 日高路で語る我々の未来～

～第46回（一社）北海道建築士会全道大会（日高大会）を開催～



専属YouTuber



ひだカフェの様子



式典の様子



静内高校書道部による余興＝懇親会



中標津大会のPR＝懇親会

9月28日（土）、第46回（一社）北海道建築士会全道大会（日高大会）を開催し、山下 支部長をはじめとした、多くの日高支部会員が参加、運営を行いました。

従来の分科会形式に代わり開催されたワールドカフェ形式のワークショップ「ひだカフェ」では、森 理事をリーダーに全道各地から集まった会員が、青年、女性など分け隔てなく「どうする？全道大会」、「どうする？支部活動」、「どうする？会員増」の3つをテーマに対話をお楽しみいただきました。

式典では、菊地 副支部長による開会宣言、亀田 青年委員長による綱領朗読に続き、大会実行委員長の山下 支部長が道内27支部からの参加者ならびに多くのご来賓に謝意を述べた上での歓迎のあいさつ。大会長である本間 会長のあいさつの後、会長表彰、森 理事によるひだカフェの報告が行われ、村田 副支部長による決意文発表とともに式典は滞りなく閉会しました。続いて、学校法人北海道科学大学 特命教授である木本 晃（きもと あきら）氏による『HOKKAIDO PRIDE～そうだ、北海道がある！』と題した基調講演をご講演をいただきました。

懇親会では地元静内高校の書道部による書道パフォーマンスを披露、各テーブルではひだカフェでは話しきれなかった議論で交流をさらに深めました。

本大会及び準備委員会に参加いただいた皆様、本当にお疲れ様でした。



# 日高支部だより

2024 vol.7

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和6年 11月 18日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建欄内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 第3回道南ブロック協議会 開催

～登別温泉郷の歴史と散策～



登別市菅野様によるご講演



まちあるきの様子＝温泉街



協議会の様子



まちあるきの様子＝地獄谷付近



エゾシカに遭遇

11月9日（土）、本年第3回目となる道南ブロック協議会が登別市で開催され、亀田 青年委員長、外山 会員が出席しました。

会議に先立ち、登別市教育委員会社会教育グループ文化・文化財主幹で学芸員の菅野様による登別温泉の魅力と歴史に関するご講演を拝聴したあと、登別温泉郷を散策、ホテルゆもと登別にて会議を行い、各支部の活動経過、計画の報告が行われました。

登別温泉は、1つの温泉に多彩な泉種を持つ大変珍しい場所です。登別温泉のいたるところから源泉が湧いていますが、その多くは約1万年前の火山活動により生じた地獄谷からの湧出です。温泉地として、登別が使われだしたのは江戸末期で、地獄谷から硫黄の採掘を行っていた岡田半兵衛が共同浴場を作ったことから始まります。その後、滝本金蔵が温泉旅館をはじめ、私費で道路工事をを行い、湯治客が利用するようになります。大正初期に室蘭の栗林五朔が登別温泉全物件を買収し、馬車から汽車、電車へと交通の整備を進め、戦後の登別温泉は観光地としての地位を確立しました。また、遊歩道や展望台の整備により、「地獄谷」と「大湯沼」は、多くの観光客を引き寄せるようになり登別を代表する観光スポットとして広く知られるようになりました。

終了後には、ホテルゆもと登別で懇親会を開催し、さらに親睦を深めました。



# 日高支部だより

2024 vol. 8

Hokkaido Kenchikushikai

発行年月日：令和5年 12月 30日

発行元：（一社）北海道建築士会日高支部

〒056-0017  
日高郡新ひだか町静内御幸町  
1-1-42 静内産業土建棟内  
TEL 0146-42-1395  
FAX 0146-42-2943

発行責任者：山下 聡

編集責任者：亀田 誠

## 建築のお仕事体験in様似 開催

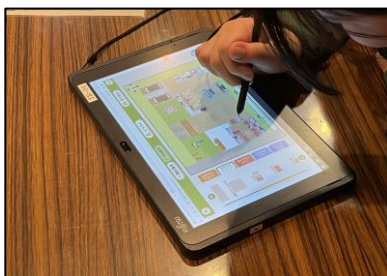
～みんなの家をつくろう～建築士になってみよう～



ウェルカムボード



体験の様子



WEBアプリの操作風景



体験の様子＝ブース全体



記念撮影の様子

12月15日（日）、様似町中央公民館において、『ミニ建築のお仕事体験in様似』を開催しました。当事業はコロナ禍における中断期間はありませんでしたが、今年度も様似町子ども会育成連絡協議会が主催する「あそびの広場」の一部をお借りしての開催となりました。内容は昨年同様にみんなの家をつくろう～建築士になってみよう～と題し、札幌支部のWEBアプリ「パズルで住まいを考えよう！」の体験でした。

当日は参加者12名、スタッフ3名。（全体としては20名）

午前中は「だれでも1等賞」という幼稚園児から小学校高学年まで誰でもが参加でき、誰でも楽しく競技ができるイベントが行われました。午後からは「遊びの広場」が開催され、建築士会のブースのほか手作り工作やけん玉、竹馬などむかしあそびコーナーなど様々なブースが設置されました。

今年度の反省点は、改良版となったWEBアプリを体験してもらいましたが、教える立場の自分たちが把握しきれていなかったことから、子どもたちに解決策を提案することができませんでした。来年度へ向けてはスタッフの人数をちょっと増やし、WEBアプリの操作性を理解して、子どもたちがスムーズにお仕事体験できるよう準備したいと思います。

今回も反省点を生かし来年度以降の「遊びの広場」での開催を目指していきます。ご協力いただきました皆様へ心より御礼申し上げます。